

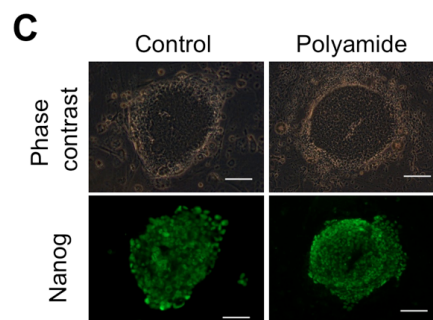
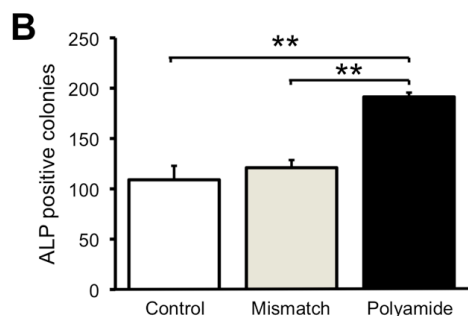
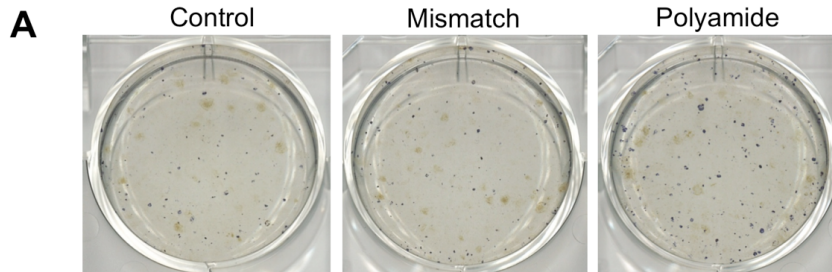
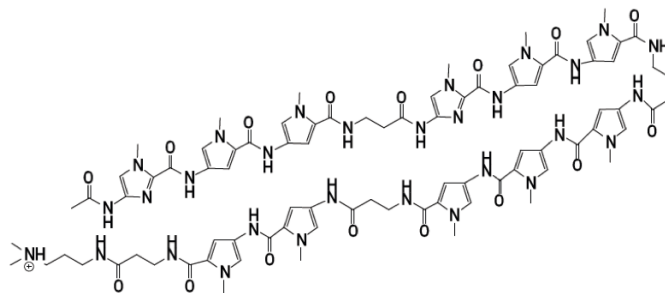
TGF-β1に対するPIポリアミド(GB1101)によるiPS細胞誘導高効率化

近年、ヒト線維芽細胞からのiPS細胞誘導化に、間葉上皮化(mesenchymal epithelial transition: MET)減少が必要で、このMETを内因性TGF-β1が抑制しているため、TGF-β1阻害剤の添加が高効率iPS細胞誘導化することが分かって来ました。ジェンティア・バイオシステムズ社で開発したヒトTGF-β1に対するPIポリアミド(GB1101)をサイトメガロウイルスによる山中4因子でiPS細胞誘導化に加えると、更に2倍の効率でiPS細胞を誘導出来ます。

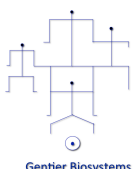
5' -GTAAGAAT - 3'
 AclmPyPy β ImPyPy
 Dp β PyPy β PyPyPy
 3' -CATTCTTA - 5'

GB1101

MS: m/z calcd for C₈₄H₁₀₃N₃₀O₁₆⁺, MW: 1788.91



コントロールに比較しALP陽性iPS細胞を2倍に増加する (A, B)。誘導培地にGB1101を100 nM添加。



ジェンティアバイオシステムズ
 株式会社

セントラルリサーチ(株)
 〒203-0012 東京都東久留米市浅間町1-9-5
 TEL/FAX: 042-425-1906